

令和7年度第2回野田市自立支援・ 障がい者差別解消支援地域協議会 次第

日時 令和7年10月17日（金）
午前10時
場所 野田市役所 8階大会議室

1 開会

2 議題

- ・ 日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価について
- ・ ヘルプシールについて
- ・ 各選出団体における障がい者の支援等に関する課題について

3 その他

- ・ 事務局より連絡

4 閉会

令和7年度報告・評価シート

【報告日 2025 年 6 月 13 日】

【評価日 2025 年 10 月 28 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム野田上花輪				人員配置	日中				
	指定日	令和元年	9月	1日			世話人	生活支援員			
	所在地	千葉県野田市上花輪1292-28					8人	4人			
	定員数（共同生活援助）	10人					(常勤換算後)	(常勤換算後)			
	定員数（短期入所）	1人					3.4人	2.4人			
	共同生活住居数	1戸					夜間				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）				
	1階 男性のみ		5名		7人		2人				
	2階 女性のみ		5名		(常勤換算後)		(常勤換算後)				
	2階 短期入所（女性のみ）		1名		1.1人		0.4人				
2 利用者状況 (令和7年6月10日 現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	0人					身体	総 数：	3人		
	区分 1	0人						主に日中GHで過ごす人数：	1人		
	区分 2	0人					知的	総 数：	4人		
	区分 3	2人						主に日中GHで過ごす人数：	0人		
	区分 4	3人					精神	総 数：	4人		
	区分 5	1人						主に日中GHで過ごす人数：	1人		
	区分 6	3人					難病等	総 数：	1人		
	合計	9人						主に日中GHで過ごす人数：	0人		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 学習支援(漢検の問題集、中高の英語・数学等)をプリントして学習しております。買物支援(同行)は利用者様の必要な物を一緒に見て購入しています。他には季節ごとのイベント、通院同行、訪問サービス利用(往診・散髪・看護・歯科)。 外部の日中活動への参加が難しい方に関して、主治医と相談しながらスモールステップを踏みながら外部へと繋いでいきます。現在移動支援を利用しながら自分の行きたいところ(イオン・ミスト・ユニクロ)に安心して外出することができています。ご自分で購入された食事をご自分で温めたり、お皿を用意したりできるよう支援しています。 食事に関しては、食材を業者から取り寄せ、ホームの職員が調理し出来立てをその場で提供しています。入浴もバイタルチェックし異常がないか確認してから入浴を勧めています。 利用者様の「できること、できないこと」(個別支援計画やアセスメントシート等)に応じて、すべて支援しております。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 8人 生活介護 COCORO：4名 ありがとうの花：3名 きょう花：1名	【評価】 ・日中支援が充実している。 ・様々な日中支援をされているため、生活の変化があって良い。 ・日中支援で学習支援を取り入れていることはめずらしく、良い取り組みである。 【助言】 ・慣れてきたタイミングで、安全面の配慮、トラブル予防に留意いただきたい。また、アセスメントを実施し、より良い支援を目指してもらいたい。
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出はまめバスを利用して外食、清水公園、運動公園などに行っています。毎月、利用者の希望やニーズに合わせたイベントを実施、中でも、いちご狩りは利用者様のお気に入りのイベントとして毎年実施しています。天気の良い日は毎日桜木神社まで散歩に行き、神社に手を合わせている利用者様もおられます。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 4名 ご本人及びご家族から入院療養よりも通院治療を継続のうえ、地域での生活を希望されているのこともあり、積極的に受け入れしております。ソーシャルでは「トライアル(無償体験)」を行っています。	【評価】 ・余暇活動への支援が充実している。 ・トライアル利用は良い取り組み。
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中、平日、土日に関係なく日勤2名以上夜勤2名以上配置しています。有資格者3名(介護福祉士・精神保健福祉士・社会福祉士各1名)が在籍しています。緊急時も訪問医、看護師、薬剤師に24時間連絡できる体制になっています。訪問看護は業務委託を結んでおり、定期的な訪問看護で健康管理をして頂いています。24時間365日のオンコール体制(看護師に相談できる)も整っております。	【評価】 ・十分な支援体制が確保されている。 ・有資格者の存在は心強い。
項目	【事業所記入欄】	【市町村協議会等記入欄】

項目	具体的な内容	要望・助言・評価
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 今年度より義務化されている地域連携推進会議の取り組みも含め、自治会長様にも協力をお願いしております。 毎年恒例の中学校のバザー、運動会、お祭りにも出来る限り参加させて頂き、少しずつですが交流の機会が増えていっています。	【要望】 ・より地域との交流を深め、地域に根差した運営をお願いする。 ・今後の実習生やボランティアの受入れを期待する。 【評価】 ・近隣の学校との交流があることは素晴らしい。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
	受け入れ人数	
	実 習 生： 0 人	
	ボランティア： 0 人	
	現在は受け入れができていませんが、野田市のボランティアセンターを活用して、今年の夏まつりの催しにゲストとして参加してもらおうと企画中で	
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 建物の構造上、女性の短期入所のみとなっておりますが、現在市内の方でご家族様のレスパイト目的で毎月利用されています。	【評価】 ・常に受け入れできる体制が整えられていることは良い。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	
	常時職員を配置しているため、緊急時もすぐ情報共有して受け入れ体制を整えております。	
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	今年度より地域連携活動報告として、毎週のように相談員、ご家族、通所先等にご利用者の様子をお伝えしています。また通院状況、服薬情報等の情報共有も行っております。	【評価】 ・実際に他の事業所からも訪問、メール、電話での情報共有が出来ているとの話が上がっている。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】 「ここでくらしたい」を創る ご利用者様にとってグループホームはまさに家そのものだといえます。家族のように温かいスタッフたちとのコミュニケーションを通してホームでの暮らしを楽しんでいただきたいと思います。「ここでくらしたい」と思ってもらえるよう日々真摯に向き合い続けます。			
	【運営方針】 入居者様それぞれの特性を理解し、安心して心地よく暮らしていただくために寄り添った支援を行います。職員全員が協力し合い、一人ひとりを尊重した、温かいコミュニケーションに溢れる職場を実現します。職員一同ホーム運営に積極的にに関わり、より良い支援を行うために一人ひとりが率先して行動します。物事にプラス思考で向き合い、ソーシャルインクルーに関わる人たちの幸せを目指します。「“あたりまえ”を大切にすることが入居者様の幸せに繋がる」ことを胸に日々真摯に向き合います。			
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【要望】 ・利用者の障害種別から、精神障がいのある人の支援に関する研修の充実も必要と考える。 ・強度行動障がいのある人の支援に関する研修への受講人数を増やして欲しい。 ・医療的ケアのある人の支援に関する研修をより充実化し、受入れ強化を図って欲しい。 【評価】 ・職員全員が研修を受講できている。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:オンラインでの動画研修サービスを利用している。
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	1人	
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	3人	
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有	3人	
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	無	0人	
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	12人	
	感染症・食中毒に関する研修	有	12人	
	緊急対応に関する研修	有	12人	
	障がい特性に関する研修	有	12人	
	誤薬防止・誤薬に伴うリスクに関する研修	有	12人	
	ハラスメントに関する研修	有	12人	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	2人（男性 1人・女性 1人）				【要望】 ・野田市援護者が少ないため、今後は市内在住の方の受入れを望む。
	市外援護者数（県内）	3人（男性 1人・女性 2人）				
	市外援護者数（県外）	4人（男性 2人・女性 2人）				
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【助言】 ・高齢者が多いため、年齢に合わせて日中活動への支援にも工夫が必要と思われる。 ・高齢者が多く、耳が遠くなる方も増えるかと思うので、伝え方について配慮するよう意識した方が良い。
	知的・精神	26	4	有	無	
	知的・身体	51	6	有	無	
	精神	64	4	有	無	
	身体	60	5	有	無	
	精神・身体	50	6	無	無	
	難病・知的	65	3	有	無	
	知的	63	6	有	無	
	精神	61	3	有	無	
	精神	50	4	有	無	

令和7年度報告・評価シート

【報告日 2025 年 6 月 16 日】

【評価日 2025 年 10 月 28 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム野田尾崎				人員配置	日中				
	指定日	4年	7月	1日			世話人	生活支援員			
	所在地	千葉県野田市尾崎708-1					16人	5人			
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）	2人					6.0人	4.1人			
	共同生活住居数	1戸					夜間				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）				
	1階 男性のみ		10名		15人		2人				
	2階 女性のみ		10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）				
	各階 短期入所		男女各1名		2.0人		0.5人				
2 利用者状況 (令和 年 月 日 現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	0人					身体	総 数：	2人		
	区分 1	0人						主に日中GHで過ごす人数：			1人
	区分 2	0人					知的	総 数：	8人		
	区分 3	2人						主に日中GHで過ごす人数：			0人
	区分 4	8人					精神	総 数：	12人		
	区分 5	5人						主に日中GHで過ごす人数：			5人
	区分 6	5人					難病等	総 数：	1人		
	合計	20人						主に日中GHで過ごす人数：			1人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 【食事】 食事は管理栄養士が組み立てたメニューを予め業者に発注、ホームで調理し利用者様の機能に合わせて提供 【入浴】 「出来ること・出来ない事」に応じて支援、体調やご希望に合わせてシャワー浴や清拭に切り替える 【排泄】 排泄後の拭き上げ、リハパン使用等「出来ること・出来ない事」に配慮 必要に応じて排泄物を観察、医療者に共有 【その他】 ・通院介助(定期受診・緊急受診)・買い物支援(同行・代行) ・運動支援・契約等各種手続きのお手伝い・こぶし園への送迎 等 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 13人 内訳：あすなろ2人 こぶし園2人 ありがとうの花1人 えーる1人 ほのか2人 みやび2人 ハナファイ2人 ケアパートナー野田1人	【要望】 ・外部の日中活動サービスを受けていない利用者に対し、個人に合わせた支援が必要。 【評価】 ・利用者の能力に応じて支援をしていることは評価できる。 ・一部の利用者からも、「良くして頂いている」と聞いている。
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 通院同行や送迎、買い物の同行、送迎を行っています。 市役所や銀行等の手続きの代行、送迎や同行を行っています。 移動支援での買い物、訪問看護ステーションと連携し看護師同行での買い物、散歩を行っています。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 体験入所をご希望される方には弊社システムの『トライアル』という食事代も含め無償体験をご利用いただけます。 江戸川病院から本入居ご希望の方の体験短期入所がありました。 退去予定日と入居希望日が合致せず、江戸川病院との間でご相談、調整頂き本入居となりました。	【要望】 ・余暇活動が少ないように感じる。 【評価】 ・医療連携は良い取り組み。 ・利用者のニーズに合わせた外出支援が出来ている。
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 1階(男性専用)2階(女性専用)共に日勤帯夜勤帯を通し24時間1～2名以上の配置をしています。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 風邪症状や感染症の疑いのある方がいる場合は相談員やご家族の来所を見合わせていただくこともあります。時間に関係なくご来所いただけるよう努めています。 玄関に来訪者名簿、非接触体温計、アルコール手指消毒を設置し、ご記入等ご協力をお願いしています。 見学にも随時対応させていただきます。 地域連携推進会議の準備を会社全体で進めています。	【要望】 - 積極的に地域と交流するための活動をして欲しい。 - 今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 【評価】 - 感染症対策を行いながら、家族との交流の機会を確保している。 【質問】 Q:地域連携推進会議の計画は進んでいるか。 A:遠方に住所を置いている利用者もあり、（千代田区・大田区）来訪頂ける日が限られてしまうため、その点も考慮して今後本部と話し合い、計画・実施する予定。		
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 651 768 699">受け入れ人数</td><td data-bbox="768 651 1317 699">実 習 生： 0人</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="768 699 1317 742">ボランティア： 0人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人
受け入れ人数	実 習 生： 0人			
	ボランティア： 0人			
昨年の評価の際ご助言いただいた野田市ボランティアセンターにご協力いただき利用者が楽しめるイベントを企画したいと考えています				
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 満床などの理由で受け入れられない場合は千葉県の入居担当者と情報共有しご希望に合った弊社の近隣ホームをご紹介等相談させていただきます。	【評価】 入居者に配慮した上で、短期入所の受け入れが出来ている。実際に対応してもらい、利用した話も聞いている。		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 ご相談いただいた時期に入居者様の不穏が強く体制が整わなかった為お待ちいただくことができました。体制が整い次第ご連絡させていただく予定です。			
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	受診結果や訪問看護師からの情報を都度ご家族や担当相談員、後見人に最低でも月一回はご報告させていただいています。 支援における問題点や困り事をご相談させていただいています。 生活介護事業所とも連絡ノートや電話連絡、必要に応じて担当者会議で問題点や状況を共有、アドバイスをいただいています。	【評価】 事業所からも情報共有が出来ていると聞いている。		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																													
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】弊社はこれまで介護包括型でGH運営を行ってまいりましたがより緊急性の高い利用者様・より重度の利用者様の受け入れに関して職員配置と人件費の問題があり一歩進んだ問題の支援に対して踏み込めない状況でありました。日中サービス支援型で事業運営させていただくことで今まで受け入れが難しかった日中活動先がない方、日中活動が困難な方の受け入れを進めてまいります。 【運営方針】住まいで困っている障がい者が「0」の社会を創る。 障がい者の住まいのインフラとなる。 障がい者が日本のどこでも自立を目指せる環境を創る。 どこでも同じという安心のソーシャルインクルー品質を確立する。																																														
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>0人</td></tr> <tr> <td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>誤薬防止/誤薬に伴うリスク</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>感染症対策</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>避難訓練</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>感染症食中毒</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・身体拘束等適正化</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>ハラスメント</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>権利擁護/接遇マナー</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>災害訓練(BPC・水害・地震・火災・夜間想定)</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>事業理念の共有(適切な支援について考える)</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	0人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	23人	誤薬防止/誤薬に伴うリスク	有・無	23人	感染症対策	有・無	23人	避難訓練	有・無	23人	感染症食中毒	有・無	23人	虐待防止・身体拘束等適正化	有・無	23人	ハラスメント	有・無	23人	権利擁護/接遇マナー	有・無	23人	災害訓練(BPC・水害・地震・火災・夜間想定)	有・無	23人	事業理念の共有(適切な支援について考える)	有・無	23人	【評価】 ・職員全員が多くの研修を受講出来ている。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:オンラインでの動画研修サービスを利用している。
研修の種類	実施有無	受講人数																																													
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人																																													
精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人																																													
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	0人																																													
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人																																													
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	23人																																													
誤薬防止/誤薬に伴うリスク	有・無	23人																																													
感染症対策	有・無	23人																																													
避難訓練	有・無	23人																																													
感染症食中毒	有・無	23人																																													
虐待防止・身体拘束等適正化	有・無	23人																																													
ハラスメント	有・無	23人																																													
権利擁護/接遇マナー	有・無	23人																																													
災害訓練(BPC・水害・地震・火災・夜間想定)	有・無	23人																																													
事業理念の共有(適切な支援について考える)	有・無	23人																																													

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	8人（男性 3人・女性 5人）				
	市外援護者数（県内）	4人（男性 0人・女性 4人）				
	市外援護者数（県外）	8人（男性 7人・女性 1人）				
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【助言】 ・幅広い年齢層の利用者を受け入れているが、年齢に合わせて日中活動への支援にも工夫が必要と思われる。 ・高齢者が多く、耳が遠くなる方も増えるかと思うので、伝え方について配慮するよう意識した方が良い。
	精神	17	4	無	無	
	知的	25	4	有	無	
	精神	63	3	有	無	
	知的	37	5	有	有	
	知的	53	5	有	無	
	精神	73	4	無	無	
	精神	57	6	無	無	
	身体・精神	37	4	一般就労	無	
	知的	33	5	有	無	
	知的・精神	69	4	有	無	
	精神	65	3	有	無	
	精神	49	4	無	無	
	知的	48	6	有	無	
	精神	52	6	有	無	
	精神	55	4	有	無	
	精神	41	4	有	無	
	身体・難病	51	6	無	無	
	知的	42	5	有	無	
	精神	49	5	無	無	
	知的	44	6	有	無	

令和7年度報告・評価シート

【報告日 令和7年6月13日】

【評価日 令和7年10月28日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	グループホームほっと				人員配置	日中				
	指定日	令和5年	4月	1日			世話人	生活支援員			
	所在地	千葉県野田市船形308-1					12人	14人			
	定員数（共同生活援助）	14人					（常勤換算後）	（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）	3人					4.38人	6.07人			
	共同生活住居数	2戸					夜間				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）				
	グループホームほっと		6名		5人		7人				
	東安根本ホーム		8名		（常勤換算後）		（常勤換算後）				
	短期入所		3名		0.65人		0.8人				
2 利用者状況 (令和 年 月 日 現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	人					身体	総 数：	2人		
	区分1	人						主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分2	人					知的	総 数：	14人		
	区分3	人						主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分4	人					精神	総 数：	人		
	区分5	5人						主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分6	9人					難病等	総 数：	人		
	合計	14人						主に日中GHで過ごす人数：			人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	【助言】 ・昨今の夏の気温上昇を勘案すると、施設内での活動の充実も必要と感じる。 【質問】 Q:職員が不足し、週2、3日だけの利用となる時もあったと聞いたことがあるが、現在は職員不足の問題は解消されたか。 A:職員の補充により、週2、3日の利用は解消し、平日は利用者のほぼ全員が利用できている。土日は利用人数が少ないため、課題がある。 Q:買い物は具体的にどこに行かれているか。 A:近隣のショッピングモールが多い。
	昼食提供、散髪、余暇サービス等（散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加など）	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 14人	
	生活介護、放課後デイサービス、行動援護、一般就労	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	
	散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 8人	
	GH利用日数の段階的増加（2泊3日→3泊4日→平日全てGH利用、祝日自宅など） 外部の日中活動サービスとの支援の連携（生活介護事業所と同じ食事方法や排泄方法を般化したなど）	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	
	各住居に1名以上の日勤を配置	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価			
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。			
	今年度中に、地域連携推進会議を計画				
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。				
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 419 768 515">受け入れ人数</td><td data-bbox="768 419 1317 462">実 習 生： 0 人</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="768 462 1317 515">ボランティア： 0 人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0 人	
受け入れ人数	実 習 生： 0 人				
	ボランティア： 0 人				
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	【要望】 ・感染症の持ち込みを防ぐことを意識し、短期入所の受け入れを検討いただきたい。			
	新型コロナウイルスの密を避ける点を優先し、積極的に受け入れていない。				
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 GH入居時に他害行為を起こし、GHの利用を拒否するようになった生活介護の利用者1名に、GHを楽しく過ごせるように練習を実施。また、別法人の短期入所利用時に問題行動を起こした利用者1名の受け入れのため、構造化を導入。				
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	生活介護事業所の支援内容をGHへ般化させ、GHの課題に対して生活介護事業所で再構造化し取り組むことができている。	【評価】 ・日中活動先とグループホームで連携が出来ている。 【質問】 Q:相談支援事業所とはどのように連携を図っているか。 A:利用者全員が法人内の相談支援事業所と契約をしているため、半年に一度のモニタリング時に個別支援計画を提出し、3か月～半年に一度近況の情報提供をしている。			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																					
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1 補足	【設立目的】 障害者総合支援法に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。 「自立して生活できる」ことから「24時間いつでも幸せな生活」へと変えていくことを目標とする。 【運営方針】 共同生活援助事業は、知的障がいのある人たちが、地域において共同して自立した日常生活または社会生活が送れるよう、共同生活住居において相談その他の日常生活上の援助を行います。 グループホームの従業者は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援を行います。																						
9-2 職員の研修体制 ※項目1 補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>11人</td></tr> <tr> <td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr> <tr> <td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr> <tr> <td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>26人</td></tr> <tr> <td>※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加</td><td>—</td><td>人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	11人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	26人	※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	—	人	【要望】 ・研修が少ないため、積極的に実施して欲しい。 ・強度行動障害の研修は全職員が受講するべき。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:法人内の虐待防止・身体拘束適正化委員会で職員全体研修や、随時行われる権利擁護研修に参加。また、内容を委員会参加者がグループホーム内の職員に引き継ぐ場面を設けている。
研修の種類	実施有無	受講人数																					
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	11人																					
精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人																					
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人																					
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人																					
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	26人																					
※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	—	人																					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-3 野田市援護者数 ※項目2 補足	野田市援護者数	14人（男性 14人・女性 人）				
	市外援護者数（県内）	人（男性 人・女性 人）				
	市外援護者数（県外）	人（男性 人・女性 人）				
9-4 利用者の詳細 ※項目2 補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	
	知的	50	5	有	無	
	知的	51	6	有	無	
	知的	41	5	有	有	
	知的	53	5	有	無	
	知的	24	6	有	有	
	知的	41	6	有	有	
	知的	32	6	有	有	
	知的	25	6	有	有	
	知的	34	6	有	有	
	知的	27	6	有	無	
	知的	32	5	有	有	
	知的	42	6	有	有	
	身体・知的	66	5	有	無	
	身体・知的	52	6	有	無	

令和7年度報告・評価シート

【報告日 2025 年 6 月 19 日】

【評価日 2025 年 10 月 28 日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	ハーモニーホーム				人員配置	日中			
	指定日	2023年	10月	1日			世話人	生活支援員		
	所在地	野田市鶴奉84番地の16					7人	(他事業所兼務)30人		
	定員数(共同生活援助)	16人					(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	定員数(短期入所)	5人					2.4人	3.8人		
	共同生活住居数	2戸					夜間			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人(夜間)		生活支援員(夜間)			
	男性棟(西棟)		8名		7人		(他事業所兼務)30人			
	女性棟(東棟)		8名		(常勤換算後)		(常勤換算後)			
	短期入所		男性棟2名、女性棟3名		1.6人		3.2人			
2 利用者状況 (令和7年6月1日現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)			
	非該当	人					身体	総数:	11人	
	区分1	人						主に日中GHで過ごす人数: 0人		
	区分2	人					知的	総数:	13人	
	区分3	人						主に日中GHで過ごす人数: 0人		
	区分4	人					精神	総数:	人	
	区分5	6人						主に日中GHで過ごす人数: 人		
	区分6	10人					難病等	総数:	人	
	合計	16人						主に日中GHで過ごす人数: 人		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ・本人のご希望に沿った生活内容で過ごしています。趣味である手芸(刺繍等)、テレビ・音楽・映画鑑賞、文字書き、折り紙、創作活動(壁面創作等)、買い物、散歩、等。その他、ご家族様と外出や通院等。 必要な支援は、排泄介助、入浴介助、食事介助、服薬支援、歯磨き支援、移動支援等。日中活動先と情報共有した中で、同じポイントでの支援を意識しながら、ホームの環境に合わせて個別支援の確立を行っています。 ・2か月1回訪問美容、毎月訪問歯科を案内(希望者) ・おやつ作り(希望者) ・天気のいい日は、玄関先にテーブルを出してお茶のみ(希望者) ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数：16人 ・生活介護、就労継続支援B型、一時支援	【評価】 ・様々な日中サービスを提供できている。 ・利用者のご家族からグループホームへの感謝の声を聞いている。
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・訪問歯科、訪問リハビリ、訪問美容を利用(希望者) ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等(希望者) ・散歩、買い物等(希望者) ・おやつ作り(希望者) ・他事業所の一時支援事業を(土)利用(希望者) ・毎月ボランティアさんによる定期演奏会を開催(希望者) ・GH連絡協議会主催イベントへの参加(希望者) ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 実績なし (体験利用の事例について) 実績なし	【評価】 ・利用者のニーズに合わせた外出支援に努めている。 【質問】 Q:体験利用については、空きがないため利用できないということか。 A:満床となっているため、体験利用をお受けすることができない状況。
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 6:00-10:00、16:00-21:00 男女等棟支援員各1人ずつ朝夕で配置 6:30-11:30、15:00-20:00 男女棟世話人各1人ずつ朝夕で配置 8:30-16:30 日中支援世話人1、8:30-17:30支援員1人を配置 16:00-翌朝9:00 男女棟夜勤者各1人ずつ配置 夜間は、緊急時に備え20:00-翌朝6:00宿直を1人配置	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等(希望者)。 ・年1回家族懇談会を開催(出席希望者)。懇談会という形にとらわれず、来たい時に立ち寄っていただくようにしています。訪問頻度は、週1回、月1回、必要に応じて、となっています。 ・定期演奏会、訪問歯科、訪問リハビリ実施時、希望されるご家族様には一緒に付き添い、参加していただいています。 ・支援学校PTA保護者様見学会実施。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" data-bbox="443 627 1305 715"> <tr> <td data-bbox="443 627 768 675">受け入れ人数</td><td data-bbox="768 627 1305 675">実 習 生： 0 人</td></tr> <tr> <td data-bbox="443 675 768 715"></td><td data-bbox="768 675 1305 715">ボランティア： 0 人</td></tr> </table> ・ご希望があれば積極的に受け入れをしていきたいと思います。	受け入れ人数	実 習 生： 0 人		ボランティア： 0 人	【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 【評価】 ・自治会との交流があることは良い。 ・グループホームへのニーズが高まっているため、支援学校との連携による保護者見学会はとても良い取り組み。
受け入れ人数	実 習 生： 0 人					
	ボランティア： 0 人					
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・援護地野田市の方、短期入所令和6年度実績は、契約者数23人、延べ230人の利用がありました。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 実績なし。 緊急事案については、障害特性含め現状の支援体制の中で受け入れ可能かを検討し、可能な範囲で対応していきたいと思います。	【要望】 ・緊急受け入れの申し出があった際には、ぜひ対応をお願いする。 【評価】 ・継続的に短期入所の受け入れができています。				
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・入居者様が自宅帰省後、通所先に登所しなかった為、保護者様に連絡したが応答なしの状況であった。心配になり相談支援事業所、日中活動先と連携し対応。自宅訪問をしたが反応がなく警察を呼び対応。お母様がお亡くなりになっていたのを発見、確認。本人は衰弱、病院へ搬送、その後GH職員が迎えに行きホームに戻った。その後、親族より連絡拒否の話があった。野田ネットに相談、ご紹介のあった野田市後見センター所属司法書士に相談、後見人を検討、市長申し立てを行うこととなった。後見人が選任され、本人、相談支援専門員、日中活動先管理者とともに顔合わせを行い情報共有を行った。	【評価】 ・他の事業所との連携が図られている。				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																				
9-1 設立目的・運営方針 ※項目 1 補足	【設立目的】 野田みどり会の障がい福祉サービスをご利用されているご利用者の保護者より「親も高齢になってきて本人の介護負担に限界を感じ始めているとともに、親亡き後の我が子の生活に不安を抱えている」等の相談が増えきた現状です。これを踏まえ、法人としてご利用者を始め、地域の障がいのある人が親亡き後も住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、住まいの場を提供すると共に、障がいのある人が安心して地域生活を営むことができる地域作りをすることを目的とし設立しました。 【運営方針】 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「共同生活援助事業運営規程」を遵守し、かつ、社会福祉法人野田みどり会の理念「すべての人の幸せに」を基に、次のことを基本として事業を運営していく方針です。 ①利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、常時の支援体制を確保し、当該利用者様の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、相談、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の支援又は援助を適切かつ効果的に行います。 ②地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の指定障がい福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。 ③事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び関係法令等を遵守し、事業を実施いたします。																																					
9-2 職員の研修体制 ※項目 1 補足 ※兼務職員については、各事業所で研修実施。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr> <tr> <td>倫理及び法令遵守に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr> <tr> <td>虐待防止及び身体拘束に関する研修</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr> <tr> <td>非常災害時の対応についての研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>安全運転講習会</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>ヒューマンエラー防止対策研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>ハラスメント研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>労務管理研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	2人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	8人	倫理及び法令遵守に関する研修	有・無	2人	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	有・無	8人	虐待防止及び身体拘束に関する研修	有・無	8人	非常災害時の対応についての研修	有・無	2人	安全運転講習会	有・無	2人	ヒューマンエラー防止対策研修	有・無	2人	ハラスメント研修	有・無	2人	労務管理研修	有・無	2人	介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修	有・無	2人	【要望】 ・より多くの職員が研修を受講できるようにしたい。 ・災害対応の研修が2人しか受講していない。関わる職員全員が対応できるように、研修や訓練を取り組んでもらいたい。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:法人内研修の他、野田圏域グループホーム等連絡協議会研修会、千葉県社会福祉協議会研修会に参加。
研修の種類	実施有無	受講人数																																				
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	2人																																				
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	8人																																				
倫理及び法令遵守に関する研修	有・無	2人																																				
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	有・無	8人																																				
虐待防止及び身体拘束に関する研修	有・無	8人																																				
非常災害時の対応についての研修	有・無	2人																																				
安全運転講習会	有・無	2人																																				
ヒューマンエラー防止対策研修	有・無	2人																																				
ハラスメント研修	有・無	2人																																				
労務管理研修	有・無	2人																																				
介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修	有・無	2人																																				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	16人（男性 8人・女性 8人）				
	市外援護者数（県内）	人（男性 人・女性 人）				
	市外援護者数（県外）	人（男性 人・女性 人）				
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【助言】
	身体	66	5	有	無	様々な年齢に応じて個別化された支援をしてもらいたい。
	知的	65	6	有	無	
	知的	47	5	有	有	
	身体・知的	40	6	有	無	【評価】
	身体・知的	39	6	有	有	全員が日中活動に参加出来ている。
	身体・知的	43	6	有	有	【質問】
	身体・知的	38	6	有	有	
	身体・知的	37	6	有	有	
	身体	61	5	有	有	Q:利用者の中に60代の方もいるため、夜間に急変等があった場合の連携体制について教えてほしい。 A:緊急時フローチャートにそって対応することとしている。 夜間急変時、管理者の携帯電話に連絡をすることとし、管理者は場合によってはホームに向かう。内容を確認した上で保護者様にも連絡を取り、判断によっては救急搬送対応をするようにしている。その他、令和7年9月から訪問看護ステーションとの委託業務契約により24時間体制で医療との連携が取れる体制を整えた。
	知的	50	6	有	有	
	知的	44	5	有	有	
	知的	44	5	有	有	
	身体・知的	41	5	有	有	
	身体・知的	42	6	有	有	
	身体	40	6	有	有	
	身体・知的	22	6	有	有	

令和7年度報告・評価シート

【報告日 2025 年 6 月 20 日】

【評価日 2025 年 10 月 28 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	AMANEKU野田中里				人員配置	日中				
	指定日	令和5年	11月	1日			世話人	生活支援員			
	所在地	千葉県野田市中里427-1					26人	6人			
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）	2人					9.8人	4.5人			
	共同生活住居数	20戸					夜間				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）				
	1階 男性のみ		10名		19人		人				
	2階 女性のみ		10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）				
	各階 短期入所		男女各1名		3.2人		人				
2 利用者状況 （令和7年5月31日 現在）	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	人					身体	総 数：	8人		
	区分 1	人						主に日中GHで過ごす人数：	0人		
	区分 2	人					知的	総 数：	6人		
	区分 3	4人						主に日中GHで過ごす人数：	0人		
	区分 4	7人					精神	総 数：	9人		
	区分 5	3人						主に日中GHで過ごす人数：	3人		
	区分 6	5人					難病等	総 数：	人		
	合計	19人						主に日中GHで過ごす人数：	人		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行ったり、昼食の提供、食事や入浴の介助、排せつの介助等も行っております。行政やその他必要な手続きの支援なども行っております。	【要望】 ・それぞれの障害種別の方がいるため、特性に応じた支援をして欲しい。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 16人	
	生活介護等	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 散歩・パズル遊び・買い物同行等の日常の日中サービスや、DVD鑑賞や外食レクリエーションなどの月一のイベント行事を行っております。	【評価】 ・余暇活動が充実している。 ・無料体験は良い取り組み。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数）70人	
	弊社では、食費や光熱費などもかからない2泊3日の無料体験を行っております。とても好評をいただいております、たくさん体験のお申込みを頂いております。実際に本入居に繋がったケースも何件かあります。	
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 当社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよう、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスをご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間でも各フロア2名体制で支援を行っております。土日・祝日なども同様の体制を確保しております。	【評価】 ・十分な支援体制が確保されており、安心できる。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 スーパーの移動販売をAMANEKU野田中里の駐車場に来ていただき、そこで買い物をしたり、近隣の公園に行きお花見などを行うことがあります。イベント行事に積極的に参加していきます。 地域連携推進会議が今後実施されていくため、お知らせをするタイミングで、移動販売もあることをお伝えし地域の方々にも利用いただくよう努めていきます。	【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 【評価】 ・移動販売車の利用は楽しみを増やす努力が感じられる。 ・地域と交流しようとする姿勢が見られる。 【質問】 Q:地域連携推進会議の準備は進んでいるか。 A:現在進めている。書類の整備などは進んでおり、構成員への依頼、日時の決定などが残っている。		
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 608 768 651">受け入れ人数</td><td data-bbox="768 608 1317 651">実 習 生： 0人</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="768 651 1317 699">ボランティア： 0人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人
受け入れ人数	実 習 生： 0人			
	ボランティア： 0人			
今後、ボランティアの受け入れを検討しております。				
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 令和7年5月31日時点で27件の受け入れを行っており、利用が終わった後でも継続的に短期入所をご利用いただく方もいます。	【評価】 ・積極的な姿勢は評価できる。		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 依頼があれば、積極的に受け入れをしていくことを検討していきます。			
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	協力医療機関の野田病院を受診の際にはあまり待機することなく受診している。 通所先のありがたい花様等と連携し、細かい情報も相談員さんと情報共有を行っています。相談員さんを通じて、移動支援などを対応しております。			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】 当社は、障がいを持つ方々が地域社会で自立し、充実した生活を送ることを支援することを理念としています。これまでの運営経験を通じて、日中サービス支援が必要な障がい者の方々のニーズが急激に増加していることを実感しております。特に、日中の時間帯における適切な支援が不足している現状があり、これに対応するために新たなグループホームの開設が必要と考えました。 地域社会における障がい者支援の充実は、障がいのある方々だけでなく、その家族や地域全体にとっても大きなメリットがあります。日中支援型グループホームを通じて、障がい者の方々が社会参加を図り、自己実現を目指すことができる環境を提供することは、社会的観点からも重要です。また、当社はこれまでに日中サービス支援型において蓄積したノウハウと経験を活かし、質の高いサービスを提供する自信があります。スタッフの専門性の向上、個々の利用者に合わせてきめ細かい支援計画の策定、地域社会との連携強化など、総合的なサポート体制を構築し、障がい者の方々がより良い生活を送れるようサポートすることが私たちの目標です。 このような背景から、新たなグループホームの開設による日中支援型サービスの提供は、地域における障がい者支援の質と量の両面での充実に寄与すると考え、本サービスの指定を希望するに至りました。私たちは、行政との連携を密にしながら、地域に根ざした質の高いサービスの提供に努めてまいります。 【運営方針】 「障がい」の有無に関わらず、全ての全ての人が自分らしくあるために、豊かな暮らしを創造することを企業理念としております。 グループホームAMANEKUの運営には障がいのある方当事者も携わり、ホームごとに障がい特性や毎日の生活に配慮したコンセプト設定をしています。支援体制はもちろんのこと、新築の建物には利便性の良い立地、ユニバーサルデザイン、心地よい動線など、様々なこだわりを加え、居住される方が自分らしい暮らしを送ることができるようにサポートします。また、障害者の方が暮らすグループホームみに特化した専門の建設チームを有し、社内で建設事業も行っております。完成までの基礎工事から内部工事、住設備、外構工事の一連の流れを上記建設チームで行っています。 上記の一連の流れを行うことによって、障害を持った方の支援に適した動線、設備、間取り、デザインにいたるまで様々な工夫を取り入れ、利用者様に寄り添ったグループホームの建設を実現させています。	【評価】 ・素晴らしい考え。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-2 職員の研修体制 ※項目 1 補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【要望】 ・精神障がいのある利用者が多く見られるため、精神障がいに関する研修の充実が必要。 【評価】 ・積極的に研修を受講していることは評価できる。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:外部ツールを使用し、自社で行う。動画形式のeラーニングツールを使用している。
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	14人	
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	9人	
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人	
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	14人	
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	14人	
	支援力の向上1（基礎・障がい特性の理解、GHにおける支援）	有	16人	
	虐待防止・身体拘束適正化に関する研修	有	13人	
	利用者に対してのコミュニケーション力向上研	有	16人	
	コミュニケーション向上研修2	有	12人	
	防災・防犯対策研修	有	16人	
	支援力向上研修	有	15人	
	危機管理・虐待防止・身体拘束適正化研修2	有	14人	
	ハラスメント防止・権利擁護についての研修	有	13人	
	感染症予防についての研修	有	9人	
防災・防犯対策研修2	有	14人		
9-3 野田市援護者数 ※項目 2 補足	野田市援護者数	7人（男性 6 人・女性 1 人）		
	市外援護者数（県内）	6人（男性 2 人・女性 4 人）		
	市外援護者数（県外）	6人（男性 2 人・女性 4 人）		

項目	【事業所記入欄】					【市町村協議会等記入欄】
	具体的な内容					要望・助言・評価
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【助言】 ・様々な年齢、障害種別の方が利用されているので、個別化された支援をお願いします。 【質問】 Q:知的、身体、精神障がい、それぞれの障がい種別の利用者がおり、混合することで苦勞をしているところ、良いところ、気をつけているところを教えてください。 A:精神の方で日中は静かに過ごしたい方、知的の方でホーム内をにぎやかに過ごしたい方、身体の方で一人暮らしを希望されている方等があり、お互いのご要望がぶつかり合ってしまうことから、支援調整の難しさがある。良いところとしては、他害や自傷等の特性を持つ方が自分とは違う障害の方と接することで、元々もっていた優しさや思いやり等が表面にでてきて他害や自傷を抑えられているケースなどがある。気を付けている点は時間の区切りやコミュニケーションの時間をそれぞれ設けることと職員間の情報共有に気を付けている。
	精神	50	3	無	無	
	知的	41	5	有	有	
	身体	49	6	有	無	
	精神	51	3	有	無	
	精神	44	4	有	有	
	身体・知的	20	6	有	無	
	身体・知的	60	6	有	無	
	精神	37	4	有	無	
	精神	61	4	有	無	
	精神	60	5	無	無	
	身体	62	5	有	無	
	知的	73	3	有	無	
	身体・知的・精神	24	6	有	無	
	身体	48	4	有	無	
	精神	29	6	無	無	
	身体	67	3	有	無	
	身体	59	4	有	無	
	知的	64	4	有	無	
	精神	20	4	有	有	

令和7年度報告・評価シート

【報告日 2025年 6月27日】

【評価日 2025年10月28日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	パートナーガーデン愛宕				人員配置	日中				
	指定日	2024年	12月	1日			世話人	生活支援員			
	所在地	千葉県野田市清水811番地の5					6人	9人			
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）	2人					4人	4人			
	共同生活住居数	20戸					夜間				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）				
	一階（A棟） 男性のみ		10名		3人		6人				
	一階（B棟） 女性のみ		10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）				
	短期入所		男女各1名		0.2人		0.8人				
2 利用者状況 （令和7年6月1日 現在）	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	人					身体	総 数：	2人		
	区分 1	人						主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分 2	人					知的	総 数：	15人		
	区分 3	人						主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分 4	3人					精神	総 数：	2人		
	区分 5	9人						主に日中GHで過ごす人数：			人
	区分 6	3人					難病等	総 数：	人		
	合計	15人						主に日中GHで過ごす人数：			人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 散歩・買い物・入浴・通院などが中心ではある。 その他YouTubeでアニメ鑑賞や折り紙や塗り絵などを実施している。 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数：15人 （主な外部の日中活動サービスの種類について） 生活介護	【要望】 ・通所先の事業所と連携して、支援方法について検討いただきたい。 【評価】 ・利用者全員が外部の日中活動サービスを利用できている。
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 公園への散歩や買い物などを行っている。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数） 地域生活拠点事業の体験的利用等は0名	【質問】 Q:金銭管理、行政手続き、通院について、グループホームで対応できるか。 A:金銭管理については、原則として現金のお預かりはしていないものの、金庫を用意して部屋に置き、鍵を預かることで対応している。行政手続きについては、ご家族に協力いただく方もいるが、難しい場合にはグループホームで対応している。通院についても対応は可能。訪問看護や相談員等との連携を図り対応している場合もある。 Q:利用者の余暇活動について、グループホームで企画しているものはあるか。 A:昨年はクリスマス会を実施し、今後も予定している。また、食事イベントも検討している。
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 毎日、日中は3～5名程度の配置を行っている	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 近所の方へのあいさつ、家族・相談員は頻回に来訪され、他の利用者の方や職員との日常的な会話がなされている 今年度中に地域連携推進会議も兼ねた家族会を実施予定 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" data-bbox="770 512 1305 603"> <tr> <td data-bbox="770 512 875 555">受け入れ人数</td><td data-bbox="875 512 1305 555">実 習 生： 0人</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="875 555 1305 603">ボランティア： 0人</td></tr> </table> 実習指導者がいないため、実習生の受け入れは体制が取れるようになってから、検討する	受け入れ人数	実 習 生： 0人		ボランティア： 0人	【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 ・地域のイベントに参加するなど、地域との交流に努めて頂きたい。
受け入れ人数	実 習 生： 0人					
	ボランティア： 0人					
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 野田市内の方でご依頼がある方の受け入れを中心に行っている ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 緊急の受け入れの依頼であったが、約2か月半対応し、次の居住の場へ繋がった					
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業所との方とは頻回に情報共有を実施 ・生活介護事業所との方とは送迎時に情報共有を実施 ・共通の利用者の支援方法も合同で組み立てて支援するなど、他法人の方々と連携を図っている ・研修を依頼し実施していただいた実績もあり ・今後、事業所を超えての研修を実施予定	【評価】 ・他事業所と連携が図られている。				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																											
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】 弊社は高齢福祉を25年以上運営しております。そこを利用されているお客様から障がいを抱える子供たちの将来を案じるご意見を複数頂戴しておりました。その声を拾い、障がいを抱える方とその家族が安心して暮らせる環境づくりが私たちの目指す介護と考え障害者GHを運営させていただく事となりました。 経験を重ねるごとに家族様の大変さ、重い障がいを抱える方の行き場のなさを痛感し、安心して暮らせる環境づくりというコンセプトに合致することから日中サービス支援型の展開を行うようになっております。 【運営方針】 1. 生涯安心して過ごせる環境を提供します。 2. 透明性のある適切な事業運営をいたします。 3. 入居者様の個別性を尊重いたします。																												
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>無</td><td>人</td></tr> <tr> <td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>10人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>対人援助技術に関する研修</td><td>有</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>障がいの理解に関する研修</td><td>有</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>グループホームの業務に関する研修</td><td>有</td><td>15人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	2人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	15人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	無	人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	10人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	15人	対人援助技術に関する研修	有	15人	障がいの理解に関する研修	有	15人	グループホームの業務に関する研修	有	15人	【要望】 ・知的の利用者が多いようなので、多くの職員が強度行動障害の研修を受講した方がよい。 【評価】 ・研修体制が整っている。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか。 A:自社と外部、両方の研修を実施している。事業所にてグループホーム等支援ワーカーの方に実施していただいた。また、グループホーム等支援ワーカー主催の研修にも参加した。
研修の種類	実施有無	受講人数																											
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	2人																											
精神障がいのある人の支援に関する研修	有	15人																											
医療的ケアのある人の支援に関する研修	無	人																											
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	10人																											
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	15人																											
対人援助技術に関する研修	有	15人																											
障がいの理解に関する研修	有	15人																											
グループホームの業務に関する研修	有	15人																											

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	9人（男性 7人・女性 2人）				
	市外援護者数（県内）	4人（男性 1人・女性 3人）				
	市外援護者数（県外）	2人（男性 2人・女性 0人）				
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【要望】 ・若い人が多く、積極的に地域の人と関わりを持って欲しい。 【評価】 ・利用者全員が外部の日中活動サービスを利用している。
	知的・精神	33	4	有	無	
	知的	31	5	有	有	
	知的	61	5	有	無	
	知的	30	6	有	無	
	知的	23	5	有	有	
	知的	42	5	有	無	
	知的	47	5	有	無	
	知的	38	5	有	有	
	知的	21	5	有	有	
	身体・知的	19	6	有	無	
	知的・精神	56	4	有	無	
	知的	24	4	有	有	
	知的	19	5	有	無	
	知的	61	5	有	有	
	身体・知的	36	6	有	有	
	日中活動は毎日でない方もいらっしゃる、体調不良や気分が乗らない等により欠席されることもある					

令和7年度報告・評価シート

【報告日 令和 7年 6月 18 日】

【評価日 令和 7年 10 月 28 日】

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	イノベル野田上花輪				人員配置	日中				
	指定日	令和7年	3月	1日			世話人	生活支援員			
	所在地	野田市上花輪新町38-1					3人	6人			
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）	2人					1.9人	2人			
	共同生活住居数	2戸					夜間				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）				
	1階（A棟）		10名		6人		4人				
	2階（B棟）		10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）				
	短期入所		2名		0.7人		1.5人				
2 利用者状況 （令和7年6月1日 現在）	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	人					身体	総 数：	4人		
	区分 1	人						主に日中GHで過ごす人数：			4人
	区分 2	人					知的	総 数：	1人		
	区分 3	人						主に日中GHで過ごす人数：			1人
	区分 4	1人					精神	総 数：	4人		
	区分 5	1人						主に日中GHで過ごす人数：			4人
	区分 6	3人					難病等	総 数：	0人		
	合計	5人						主に日中GHで過ごす人数：			0人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行ってます。 【生活支援】 ・介助全般（起床・身体・入浴・食事・就寝） ・通院等介助 ・買物同行支援、お散歩支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・ご要望があった場合金銭管理 ・各種相談支援、行政手続き支援等 ・レクリエーション 創作活動（しりとりに、風船バレー、体操） 【健康管理】 ・毎日、朝夕のバイタルチェック ・体重測定に関しては現在、車いす用の測定器を会社へ稟議中 【その他】 ・往診：内科、歯科 ・訪問看護、リハビリ、理美容	【評価】 ・日常生活に対するサービス提供が出来ている。 【質問】 Q:区分5、6の方々はどうような方法で外出（買い物、散歩）されているのか。 A:基本的に精神障がいがあるが理由で外出が困難。買い物は可能な限り車等で同行するが、ご本人やご家族から職員に買い物を依頼することが多い。散歩は適宜。車イスで外出可能な方は気候により変動するが週2～3回近くの公園等に散歩する。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 1人	
	生活介護に行かれております。 ・生活介護 COCORO 様	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4 利用者に対する 地域生活の支援 状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・買物支援（しまむら、ミニストップ、セブンイレブン、ファミマ） ・お散歩同行 ・移動支援 ・共有スペースのダイニングでテレビ鑑賞や会話支援 ・風船バレー	【評価】 ・外出や余暇活動の支援を検討されている。 ・体験利用を長く利用できることは良い取り組み。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数）0人	
	将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。 体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っております。 体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。 現在までに入居されて利用者様は、体験を通して入居されております。入居前提でなくても体験利用可能です。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価			
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 現在、イノベル野田上花輪では、スタッフは全員女性スタッフで勤務しております。ご利用者のプライバシーを考慮した考え方は勿論、同性介助で支援を行うことが安心・安全に繋がることだと考えて支援を行っております。スタッフに勤務の説明をして、日勤及び夜勤でフルタイムで働いているスタッフの方にも対応して頂いております。ご利用者に長く支援して頂き、安心してお過ごし頂けるように体制を確保しております。 夜勤スタッフについては1フロア2名体制を確保しつつあります。令和7年8月1日2階解放に向けて人員体制の確認及び地域の方々に利用して頂けるようにお声がけをしております。 日中（土日を含む） 1ユニット 5～6名（管理者を含む） 夜間専従者 1ユニット 1～2名（管理者を含まない） にて支援を行わせて頂いております。	【質問】 Q:以前「恵」に指摘した「浸水5m地区」における緊急避難体制と防災訓練はどのようにしているのか。 A:別添のとおり避難確保計画を作成した。 Q:2階解放に向けた人員体制の進捗について教えてほしい。 A:1階の職員体制は日勤、夜勤とも充足している。2階解放に向け同時進行している。			
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・ご家族の訪問時、電話、SNS対応は勿論、ご連絡を頂いた時、また、普段のお過ごしやご質問のご連絡を致しております。 ・お買物時におきましても、ご利用者様方の楽しみで施設外に行かれたときも、地域の方がへスタッフとともにご挨拶を致しております。 ・散歩の時、公園などなどに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" data-bbox="432 1134 1317 1225"> <tr> <td data-bbox="432 1134 768 1225" rowspan="2">受け入れ人数</td><td data-bbox="768 1134 1317 1177">実 習 生： 0人</td></tr> <tr> <td data-bbox="768 1177 1317 1225">ボランティア： 0人</td></tr> </table> 実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。 人員不足解消の為に検討していきたいと思います。何かしら、ボランティアを募る方法があればお教えいただきたく存じます。	受け入れ人数	実 習 生： 0人	ボランティア： 0人	【質問】 Q:地域連携推進会議の計画は進んでいるか。 A:計画中。遠方や他の事情でホームに来所されるご家族が少ないのでお知らせをしている。
受け入れ人数	実 習 生： 0人				
	ボランティア： 0人				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・短期入所のお問い合わせが、相談員様などから有れば、積極的にお受けしております。 ご利用者様から、時折短期入所の利用のご質問を頂き事もございます。その際にもご対応しております。 また、野田市街の方からもお話があればご案内させて頂いております。 ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 ・ご家族のレスパイト等に関わらず、ご利用されております。 令和6年6月におきまして、千葉市在住の方から緊急でご利用して頂きたい旨のご連絡を頂きました。ご自宅から近い順に施設を発見できたようで、ご利用には至りませんでした。ご利用可能とご回答させて頂いております。	【評価】 ・積極的な受け入れは評価できる。
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。短期入所のご案内など頂いております。 ・他のサービス事業所やリハビリ、訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。	
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】ビオネストグループ理念：社会にとって価値あるものを提供し、事業を発展させることによって、お客様と従業員の幸福を最大化する。 【運営方針】イノベルヘルスケアの理念：障がい福祉事業の新会社として、私たちに関わるすべての方々とともに成長し、今ここに無い未来を創造し、高い志を持って、社会に必要な基盤と明るい未来の実現に貢献する。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【評価】 ・全職員が研修を受講できている。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:外部の研修では野田圏域障がい者グループホーム等連絡協議会、松戸圏域障がい者グループホームワーカー研修に参加。自社での研修も実施しております。			
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	13人				
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	13人				
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有 無	人				
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	13人				
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	13人				
	入社研修、管理者MTなど研修は一カ月数回をめぐりに行っております。	有・無	13人				
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	0人（男性 人・女性 人）			【要望】 野田市の利用が増えると良い。		
	市外援護者数（県内）	4人（男性 人・女性 4人）					
	市外援護者数（県外）	1人（男性 人・女性 1人）					
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	【要望】 ・平均年齢が高いため、体調管理に気をつけてほしい。 ・平均年齢が高く、耳が遠い方もいるかと思うので、伝え方について配慮するよう意識した方がよい。		
	身体・知的	57	6	有			
	身体・精神	58	6	無			
	身体・精神	57	4	無			
	身体・精神	64	5	無			
	精神	57	6	無			

令和7年度報告・評価シート

【報告日 令和 7年 6月 20日】

【評価日 令和 7年10月 28日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	イノベル野田尾崎				人員配置	日中			
	指定日	令和7年	3月	1日			世話人	生活支援員		
	所在地	千葉県野田市尾崎102-2					6人	5人		
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）		
	定員数（短期入所）	2人					2.1人	2.5人		
	共同生活住居数	2戸					夜間			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		世話人（夜間）		生活支援員（夜間）			
	1階（A棟）		10名		5人		5人			
	2階（B棟）		10名		（常勤換算後）		（常勤換算後）			
	別棟 短期入所		2名		0.7人		2.5人			
2 利用者状況 （令和7年6月1日 現在）	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
	非該当	人					身体	総 数：	0人	
	区分 1	人						主に日中GHで過ごす人数：		
	区分 2	人					知的	総 数：	3人	
	区分 3	人						主に日中GHで過ごす人数：		
	区分 4	1人					精神	総 数：	2人	
	区分 5	4人						主に日中GHで過ごす人数：		
	区分 6	人					難病等	総 数：	0人	
	合計	5人						主に日中GHで過ごす人数：		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行ってます。 【生活支援】 ・介助全般（起床・身体・入浴・食事・就寝） ・通院等介助 ・買物同行支援、お散歩支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・ご要望があった場合金銭管理 ・各種相談支援、行政手続き支援等 ・レクリエーション ラジオ体操、卓上のゲーム等 【健康管理】 ・毎日、朝夕のバイタルチェック（入浴時も含む） ・体重測定（毎日、または月4回の方がいます） 【その他】 ・往診：内科、、外科、歯科、精神科 ・訪問看護、理美容	【要望】 ・栄養面を考えた食事提供をお願いします。 ・今後利用者が増えた場合でも、同様の支援をお願いします。 【評価】 ・健康管理を積極的に実施されている。 ・日常生活に対するサービス提供が出来ている。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 3人	
	生活介護や移動支援に行かれております。 ・ありがとうの花 様 ・あすなろ職業指導所 様 ・COCORO 様	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4 利用者に対する 地域生活の支援 状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・買物支援（スーパー・コンビニ） ・お散歩同行（近隣の公園） ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数）0名 将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。 体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っております。 体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。 現在までに入居されて利用者様は、体験を通して入居されております。入居前提でなくても体験利用可能です。	【評価】 ・外出や余暇活動の支援を検討されている。 ・体験利用を長く利用できることは良い取り組み。
5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中は1ユニット 2～3名のスタッフを確保しつつあります。グループホームでのお過ごしを安全かつ安心して頂けるように、丁寧な声かけを一日を通してスタッフへ情報共有しております。 夜勤スタッフについては、1フロア2名体制が望ましく、現在も求人を待ちながらご利用者様の支援に当たっております。 日中（土日を含む） 1ユニット 2～3名（管理者を含む） 夜間専従者 1ユニット 1～2名（管理者を含まない） にて支援を行わせて頂いております。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	【要望】 ・積極的に地域との交流を図って欲しい。 【助言】 ・サンスマイルやおひさまといっしょに、文化祭などに参加するのはいかがか。 【質問】 Q: 地域連携推進会議の計画は進んでいるか。 A: 遠方に住所を置いている利用者様もあり、ご来訪頂ける日が限られるため、その点も考慮して今後本部と話し合い計画・実施する予定。				
	・ご家族の訪問に関しましては、ご連絡があればご対応しております。ホームの状況などや質問などを、随時コミュニケーションを取っております。 ・散歩、買い物時などに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。					
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 555 768 603">受け入れ人数</td><td data-bbox="768 555 1317 603">実 習 生 : 0人</td></tr> <tr> <td></td><td data-bbox="768 603 1317 643">ボランティア : 0人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生 : 0人		ボランティア : 0人
	受け入れ人数		実 習 生 : 0人			
	ボランティア : 0人					
実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。 人員不足解消の為に検討していきたいと思います。何かしら、ボランティアを募る方法があればお教えいただきたく存じます。						
7 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。					
	・イノベル野田尾崎での併設短期は御座いません。 ・イノベル野田尾崎では、別棟に単独短期棟が御座います。今現在、単独短期棟は稼働しておりませんが、短期入所のお問い合わせは多く寄せられており、地域における必要性を強く感じている所です。お問い合わせがあった場合には、グループ内の近隣施設のご案内を致しております。					
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。					
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・上記の記載に御座います通りになります。					
	・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。連絡協議会、圏域協議会に参加しております。 ・他のサービス事業所や訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
9-1 設立目的・運営方針 ※項目1補足	【設立目的】ピオネストグループ理念：社会にとって価値あるものを提供し、事業を発展させることによって、お客様と従業員の幸福を最大化する。					
	【運営方針】イノベルヘルスケアの理念：障がい福祉事業の新会社として、私たちに関わるすべての方々とともに成長し、今ここに無い未来を創造し、高い志を持って、社会に必要な基盤と明るい未来の実現に貢献する。					
9-2 職員の研修体制 ※項目1補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【要望】 ・医療的ケアの研修を受講されているため、積極的な受け入れをお願いする。		
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有 無	12人	【評価】 ・全職員が研修を受講できている。		
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有 無	12人	【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。		
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有 無	12人	A:外部の研修では野田圏域障がい者グループホーム等連絡協議会、松戸圏域障がい者グループホームワーカー研修に参加。自社での研修も実施しております。		
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有 無	人			
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有 無	12人			
	入社研修を始め毎月虐待防止を欠かさず行っています	有 無	12人			
		—	人			
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
9-3 野田市援護者数 ※項目2補足	野田市援護者数	2人（男性	2人・女性	人）	【要望】 ・定員に近づくように努めて欲しい。	
	市外援護者数（県内）	1人（男性	1人・女性	人）		
	市外援護者数（県外）	2人（男性	2人・女性	人）		
9-4 利用者の詳細 ※項目2補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【要望】 ・日中活動に繋がるように支援をお願いする。
	知的	38	5	無	無	
	知的	23	5	有	無	
	知的	44	4	有	無	
	精神	57	5	無	無	
	精神	36	5	有	無	

「ヘルプシール」の導入について

現在、障がい者支援課等の窓口で、ヘルプマーク（義足や人工関節を使用している方、内部障がい、難病、知的障がい、精神障がい、妊娠している方等、援助や配慮を必要とすることが外見から分かりにくい方々が、周囲の理解や手助けを得やすくすることを目的としたストラップ型のマーク）を配布していますが、周囲の方がマークを見かけても、具体的にどのような障がいがあり、どのような手助けを必要としているのかが分からないという課題もあります。



裏面にシールを張って、自分の情報を書き込むことができるが、手書きであり、障がいのある方が自ら書くのに抵抗がある。また、パッと見て必要な支援が分からない。

そこで、障がいがある人のコミュニケーション支援ツールとして「ヘルプシール」を作成し、誰もが安心して暮らせるまちづくりの一助にしたいと考えています。

障がいがある人が理解してほしいことや配慮してほしいことを言葉にしたもので、ヘルプマークの片側に貼ることができるほか、スマホ、パスケース、手帳等、普段使うものに貼ることで、障がいのある人が周囲への意思表示を簡便に行うことができ、様々な場面で他者からの配慮を受けやすくなる効果が期待できます。

より当事者の方が使いやすいものとするため、自立支援協議会の皆様のご意見をいただきたいと思います。



なお、これに先立って、9月19日に野田市障がい者団体連絡会の皆様にもご意見をいただいております。「ペースメーカーが入っています」の文言があるといい、市がすすめている取組であることをアピールしてほしい、空欄のあるシールはパソコン等で自分で入力できるようにしてほしい、一枚の大きなシール紙に印刷すると必要のないシールが無駄になってしまうので、障がいごとにシートが分かれているといいといった意見をいただいております。